

## 送辞

今日は皆さんの旅立ちにふさわしく、弥生の空が美しく晴れわたっています。月日が経つのは早いもので、あっという間に3月のこの日を迎えてしまいました。

本日、晴れて卒業を迎えられました10名の皆様に、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、皆様は巣立ちの時を迎え、様々な思いが、胸に去来していると思います。

3年前の4月、皆様は新しい制服を身にまとい、この日高高校の門をくぐられました。

皆様は、楽しい日々や、私たちには知ることのできない辛く不安な日々を必死に乗り越え、卒業式という晴れ舞台に立つ事ができました。

日高高校でのかけがえのない思い出が、懐かしく思い出されることでしょう。皆様と共に過ごした時間は、決して長い時間ではありませんでしたが、様々な学校行事、寮生活等私たちをリードし活躍していた姿がとても印象に残っています。

入学して間もない頃、先輩方の事が怖く、話しかけられなかった時に、先輩方から話しかけてくれたこと。失敗した時に、「大丈夫」と励ましてくれたこと。

入学当初は先輩方に助けて貰う事ばかりでした。

率先して私たち在校生を引っ張り、盛り上げてくれたこもれび祭。

ステージ企画を一から考えたり、ただひたすらに焼きそばを焼いたり、協力しながら活躍する先輩方の姿が、とても頼もしく今でも忘れられません。

時には、一緒にご飯を食べたり、一緒に登下校や部屋の掃除、写真撮影をしたこともありました。

共に生活していくなかで、仲が深まってゆき、たくさんの何気ない出来事がかけがえのない思い出になっています。皆様の姿を、我々在校生は忘れません。寮内に響く、先輩方の笑い声がとても心地よく、それを聞くことができないと思うと少し寂しい気持ちになります。

今日、皆様はこの日高高校を旅立ちます。ここで学んだ多くのことを礎に、新しい世界でもさらにご活躍するのでしょうか。

そして、それぞれの道は違っても、この日高高校で共に人生の一時期を過ごしたことで、皆様はお互い強い友情で結ばれていることと思います。

これからの日高高校のことは、私たち在校生に任せてください。皆様の強い友情をお手本に、慣れ合うのではなくお互いに切磋琢磨し、悔いのない学校生活を送ります。

卒業後も、時には日高高校を思い出し、今後の人生の糧として、それぞれの道で精進してください。

皆様の益々のご活躍とご健康を、在校生一同、心よりお祈り申し上げ、送辞といたします。

令和二年三月一日  
在校生代表 関口 和